

テーマ	衛星写真、ドローン等を活用した遊休農地の早期発見、荒廃の予防
-----	--------------------------------

1. 解決したい課題の内容について

・宇佐市は広大な平野部のもと県内一の穀倉地帯を有しており、中山間地域では、その地域特性を活かし、ゆずやぶどうの産地となっている。しかし近年少子高齢化が進み、農業の担い手の高齢化や後継者不足のため耕作放棄地（以下、遊休農地）が発生している。遊休農地は数年放置されると山林化し再生困難な農地となる。

・遊休農地の発見・解消のために職員と農業委員・農地最適化推進委員で農地パトロールを行っているが、農地の面積が広大なため把握するのに膨大な時間と人手が必要となっている。中山間地域では現地までの道が整備されておらず確認が困難な場合もある。

2. 実現したい目標について

・二年以内に発生した遊休農地の把握をし、早期発見・早期解消を行う。

※遊休農地の定義は「過去一年以上にわたって農作物の栽培がされておらず、農地の維持管理（草刈り、耕起など）も行われていない農地」である。

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・衛星写真等で定期的な変化の確認
- ・可能ならば判定（対応の要否など）をAI等で
- ・中山間地域などでドローンによる空撮による現地確認

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

以下を想定するが、これにこだわらない。

・現在遊休農地となっている場所をAIに学習してもらい、衛星写真等（2つ以上）の比較し自動判定をしてもらう。対象地となった場所にはドローンの空撮か現地確認を行い農業委員・農地最適化推進委員とともに分析する。

5. 協力者、実証実験の場所等について

協力者：農業委員、農地最適化推進委員

場所：市内全域

6. 課題に関連する事業のホームページ URL

・宇佐市「耕作放棄、無断転用をなくしましょう!」

<https://www.city.usa.oita.jp/sougo/soshiki/21/nogyoiinkai/2/3939.html>

・宇佐市「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」

<https://www.city.usa.oita.jp/material/files/group/111/r5saitekikasisinn.pdf>